



つなく、つながる
横浜能楽堂
Yokohama Noh Theater

お手頃価格の2,200円、狂言2曲を解説つきで。

狂言
横浜狂言堂
港南公会堂編



狂言「萩大名」(和泉流)野村万蔵 撮影:尾形美砂子



狂言「梟山伏」(和泉流)

日時 令和7年6月8日(日) 午後1時半開場 午後2時開演

会場 港南公会堂 ホール

番組 お話 野村万之丞

はぎだいみょう

狂言「萩大名」(和泉流)野村 万蔵

ふくろやまぶし

狂言「梟山伏」(和泉流)野村 真之介

チケット料金 2,200円 (全席指定)

令和7年3月17日(月) 正午より

電話: カンフェティ 050-3092-0051 (平日10:00~17:00)

WEB: <https://yokohama-nohgakudou.org/ticket/>

*車いす席をご希望の方はOTABISHO横浜能楽堂 045-263-3055 までご連絡ください。



お申込み
チケット

先行
会員

LINE友だち先行 (WEBのみ)

令和7年3月10日(月)~13日(木)

〈お問い合わせ〉OTABISHO横浜能楽堂:045-263-3055 (11:00~20:00)

主催:横浜能楽堂(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団) 後援:港南区役所

勝手に決めました
第二日曜日は
狂言の日

横浜能楽堂は令和8年6月まで休館中のため、
今回、横浜狂言堂は港南公会堂で開催します。

狂言
とは

今から1200年前に中国からわたってきた芸能が、室町時代に形が整えられ、狂言となりました。ともに発展をとげてきた能が古典文学をとりあげた格調高い芸能であるのに対し、狂言は庶民の日常的なできごとを、笑いを通して表現します。こっけいなセリフや所作(身ぶり)が特徴です。



お話 野村万之丞

狂言「萩大名」(和泉流)

シテ(大名) 野村 万蔵
アド(太郎冠者) 野村拳之介
小アド(茶屋) 石井 康太
後見 野村万之丞

狂言「梟山伏」(和泉流)

シテ(山伏) 野村真之介
アド(兄) 野村万之丞
小アド(弟) 河野 佑紀
後見 野村拳之介

はぎだいみょう

狂言「萩大名」

茶屋の萩の花が盛りを迎えているので、遠国の大名が萩の花見に出かけることになりました。茶屋の亭主に和歌をよむように言われた時に備えて、「萩の花」を織り込んだ和歌を覚えておくことにします。太郎冠者に和歌を教えてもらい、出掛けて行きました。

庭見物をする大名ですが、とんちんかんなことを口走っては太郎冠者に注意されます。いよいよ歌を一首、と亭主からよむように言われると、和歌の途中までは思い出したものの、最後の一句が出てきません…。さて、大名と太郎冠者はどう切り抜けるのでしょうか。

ふくろやまぼし

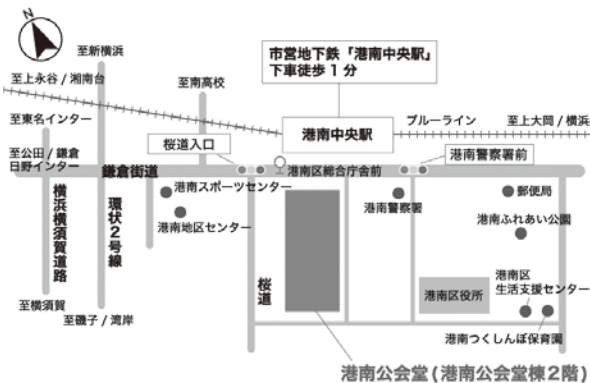
狂言「梟山伏」

ある男が、山から帰ってきてから様子のおかしい弟を治してほしいと、山伏に祈禱を頼みにいきます。山伏は、さっそく男の家に向かい祈禱をはじめます。すると弟は妙な鳴き声を発し始めます。兄の話から、弟は山で梟の巣にいたずらをしたとわかり、梟に取りつかれたのだらうとさらに祈禱を続けます。しかし弟は梟のように鳴き続け、ついには兄にも梟が取りついたのか鳴きはじめ…。自信たっぷりの山伏が失敗してしまう滑稽さと、梟の鳴き声のおもしろさが見どころの曲です。

お話をする野村万之丞さんの動画はこちら。
ぜひご覧いただき、ご来場ください。

若手狂言師の活動の日々を追い、その思いに迫る
「狂言の未来～第2日曜日を彩る狂言師たち～」シリーズ第2弾
「狂言の未来を切り開く 野村万之丞 26歳の挑戦」

横浜能楽堂YouTubeチャンネルで公開!



会場:横浜市港南公会堂

〒233-0004横浜市港南区港南中央通10-1
TEL 045-847-8480 FAX 045-847-8482
市営地下鉄「港南中央駅」徒歩1分 港南公会堂棟2階



*お客様専用の駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。
*内容・出演者が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
*お買い求めいただいたチケットは公演中止の場合を除き、変更払い戻しはいたしません。
*公演中止の場合に、旅費等の補償はできません。チケット券面額以外は一切ご返金できません。